

事業番号 2022 - 文科 - 21 - 0437

令和4年度第2次補正予算行政事業レビューシート

( 文部科学省 )

事業名	日本留学海外拠点連携推進事業			担当部局	高等教育局		作成責任者		
事業開始年度	平成26年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	参事官(国際担当)付		参事官(国際担当) 渡辺 栄二		
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	「第3期教育振興基本計画」(平成30年6月15日閣議決定)				
主要政策・施策	ODA			主要経費	経済協力				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	海外の重点地域に設置するとともに、各海外拠点の取組を支援する日本本部を設置すること等によってオールジャパンの日本留学サポート体制の実現を図り、大学等での教育研究、卒業後の就職などのキャリアパスをはじめとした日本留学の魅力を経済的に発信することで、優秀な外国人留学生の国内就職促進に向けて我が国企業のニーズに応じた外国人留学生の受入れを促進する。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	重点地域のうち6地域に海外拠点を置き、現地及び日本の関係機関(政府機関、在外公館、教育機関、企業等)や日本本部と連携し、留学に関する情報収集・発信、優秀な留学生獲得に向けたリクルーティング活動促進等の取組を実施。また、日本本部を設置し、日本国内の機関や各海外拠点と連携し、海外拠点設置地域の留学生動向に関する情報収集・分析、日本国内機関とのネットワーク構築、日本国内に在留している外国人留学生のネットワーク形成といった取組を実施。								
実施方法	委託・請負								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
		補正予算	450.4	450.4	450.4	450.4			
		令和4年度第2次補正予算	-	-	-	▲2			
		前年度から繰越し	-	-	-	▲2			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-			
		計	450.4	450.4	450.4	448.4			
	執行額	416.3	450.4	450.4					
	執行率(%)	92%	100%	100%					
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	92%	100%	100%					
令和4年度第2次補正予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	令和4年度第2次補正予算	主な増減理由						
	外国人留学生受入推進事業委託費	▲2							
	計	▲2							
活動内容 (アクティビティ)	海外拠点を設置するとともに各拠点の取組を支援する日本本部を設置し、日本留学に関する情報収集・発信や優秀な留学生獲得に向けたリクルーティング活動促進等を実施することで、日本留学のサポート体制の実現を図る。								
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込
	現地の留学生に対し、日本留学の魅力等を伝える機会が増加	現地における日本留学フェア及び留学説明会開催数	活動実績	回	162	206	355	-	-
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込
	現地の政府機関・教育機関とのネットワークの強化	現地の政府機関・教育機関との会合回数	活動実績	回	379	159	291	-	-
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	執行額/拠点数		単位当たりコスト	百万円	59.4	64.3	64.3	64.3	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標3年度	目標最終年度5年度
	現地における日本留学フェア及び留学説明会への来場者数を増やす(各年度の目標値は前年度実績を上回る値とする)	現地における日本留学フェア及び留学説明会への来場者数	成果実績	人	33,504	39,112	100,526	100,526	-
			目標値	人	28,800	33,505	39,113	39,113	-
			達成度	%	116.3	116.7	257	257	-

根拠として用いた統計・データ名 (出典)		事業採択大学調べ * 令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、現地開催のみならずオンライン開催による参加者数を記載している。								
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 3年度	目標最終年度 5年度	
	留学コーディネーター配置 国・地域から我が国の外国人 留学生数を、事業開始前 年度実績から倍増させる	留学コーディネーター配置 国・地域からの外国人留 学生数	成果実績	人	144,515	123,601	100,957	100,957	-	
			目標値	人	84,011	104,814	113,900	113,900	-	
			達成度	%	172	117.9	88.6	88.6	-	
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	(独)日本学生支援機構「外国人留学生在籍状況調査」									
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 3年度	目標最終年度 5年度	
	日本の教育機関へ入学する ための現地入試受験者 数を増やす	日本の教育機関へ入学する ための現地入試受験者 数	成果実績	人	365	341	771	771	-	
			目標値	人	460	366	342	342	-	
			達成度	%	79.3	93.2	225.4	225.4	-	
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	事業採択大学調べ (独)日本学生支援機構調べ									
活動目標及び 活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込	
	日本の教育機関の現地に おける留学フェア及び留 学生説明会への参加	日本の教育機関への現地 事情説明会開催数	活動実績	回	37	35	74	-	-	
			当初見込み	回	-	17	64	81	-	
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 3年度	目標最終年度 5年度	
	現地における日本留学フェア 及び留学説明会への本 邦教育機関参加数を増や す(各年度の目標値は前年 度実績を上回る値とする)	現地における日本留学フェア 及び留学説明会への本 邦教育機関参加数	成果実績	機関	426	452	663	663	-	
			目標値	機関	355	427	453	453	-	
			達成度	%	120	106	146	146	-	
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	事業採択大学調べ * 令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、現地開催のみならずオンラインによって日本留学フェア及び留学説明会を実施している。									
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載								チェック		
政策評価、 新経済・ 財政再生 計画との 関係	政策評価	政策	13 豊かな国際社会の構築に資する国際交流・協力の推進							
		施策	13-1 国際交流の推進	政策評価書 URL	<a href="https://www.mext.go.jp/content/20210922-mxt_kanseisk02-000017742-13_1.pdf">https://www.mext.go.jp/content/20210922-mxt_kanseisk02-000017742-13_1.pdf</a>					該当箇所
	新経済・ 財政再生 計画 2021 取組事項	分野:	-							
		(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:	-							
		該当箇所	-							
事業所管部局による点検・改善										
国費投入の 必要性	項目				評価	評価に関する説明				
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。				○	本事業は「教育振興基本計画」の目標達成に向け、諸外国の経済的情勢や現地で求められている人材等の総合的な把握や、現地の政府関係機関や学校とのネットワークの構築といった日本への留学促進のために、戦略的に取り組むプラットフォームを構築するものである。外国人留学生の受入を促進することで、諸外国との相互理解の増進と人的ネットワークの形成、我が国の大学等の教育力・研究力の強化、国際的知的貢献に資するものである。				
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。				○	本事業は世界で勝てる真のグローバル人材育成のため実施する事業であり、国が主体となり、国費を投じて実施する必要があると認められる。				
政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。				○	本事業は「第3期教育振興基本計画」等を踏まえて実施する必要があり、優先度の高い事業である。					

事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	令和3年度の支出先(委託業者)は、前年度以前に、複数の年度で委託契約を締結することを前提に企画競争を行い、有識者による選考委員会で申請内容等を厳正に審査の上、決定されているものである。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。		有	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	国が主体となって実施すべき事業であるため、委託契約により国が負担することが妥当なものである。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	費目・使途は事業実施のための委託費であり、公募要項等においても使途の詳細等を定めることとしているため、真に必要なものに限定されていると認められる。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	費目・使途は事業実施のための委託費であり、公募要項等においても使途の詳細等を定めることとしているため、真に必要なものに限定されていると認められる。
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		○	優秀な外国人学生を受け入れるため、海外における説明会などの実施に取り組み、各地域の留学生の増につとめているほか、成果実績が成果目標をおおむね上回っており、成果実績は見合ったものと認められる。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	本事業を民間企業等に委託した場合と比較し、留学に関する知識及び実績を有する大学等へ委託したほうが、コスト面でも有利であると考えられる。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	優秀な外国人学生を受け入れるため海外における説明会などの実施に取り組んでおり、留学コーディネーター配置国・地域からの留学生数については、新型コロナウイルスの影響が現れたことから見込みを下回っているものの、それ以外の活動実績は見込みを上回っていることから概ね見合ったものと認められる。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	留学コーディネーターを活用し、情報収集・情報発信等を行っている。
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	
	事業番号		事業名	
備考				
関連する過去のレビューシートの事業番号				
平成23年度	-			
平成24年度	-			
平成25年度	-			
平成26年度	新26-0043			
平成27年度	421			
平成28年度	403			
平成29年度	410			
平成30年度	414			
令和元年度	文部科学省	-	0407	
令和2年度	文部科学省		0408	
令和3年度	2021	文科	20	0432

